平成20年 3月13日
生涯学習・文化財室

放課後子ども教室推進事業の展開について

1　平成２０年度の予定　　１６６校（県内　小学校２０２校　８２．２%）１９９教室
予算　４７，０００千円

2　事業の内容

「放課後子ども教室推進事業」は、平成１６～１８年度まで３年間実施してきた「子どもかがやき教室」を拡充するもので、放課後や週末等に小学校の余裕教室等を活用し、地域の方々の参画を得て、スポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等を推進するとともに、新たに学ぶ意欲のある子どもたちに対して学習アドバイザーが指導する学びの場を提供することとしている。

① 対　象　　希望するすべての子ども
② 時　間　　平日の放課後、休日、夏・冬休み等
③ 場　所　　学校の余裕教室、公民館、児童館等
④ その他　　コーディネーターの配置、安全管理員、学習アドバイザーによる指導

3　平成１９年度の取り組み

１６４校（県内　小学校２０５校　８０．０%）において、学び・体験・交流を中心とした１８５の「放課後子ども教室」を開催

（1）学びの場としては、算数教室、習字、読み聞かせ、茶道、合唱等を取り入れた教室を開催
（2）体験の場としては、ドッジボール、バドミントン、卓球、木工作、折り紙教室等を取り入れた教室を開催
（3）交流の場としては、地域めぐり、親子料理教室、郷土芸能、三世代交流、高齢者訪問等を取り入れた教室を開催

【　参　　考　】

・子どもかがやき教室　平成１６年度　９３教室　（９０校）延べ参加児童　約１１万９千人
平成１７年度１２３教室（１２１校）延べ参加児童　約１５万４千人
平成１８年度１５３教室（１４１校）延べ参加児童　約１９万５千人
・放課後子ども教室　　平成１９年度１８５教室（１６４校）※継続中
平成２０年度１９９教室（１６６校）※実施予定

抽出方法による、平成１９年度事業アンケート結果（子ども１，２７９名、指導者１５６名）
・参加児童の７６．３%が、教室がとにかく楽しかったと回答
・参加児童の７５．８%が、教室開催日のほとんどの日に参加していたと回答
・指導者の７６．３%が、地域の子どもたちと以前よりも交流をもつようになったと回答
・指導者の８０．１%が、地域の子どもに対する自分自身の意識・関心が高まったと回答